
デコ君とボコちゃん(4)

小林 太陽

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ
テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者また
は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ
ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範
囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し
ます。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

デコ君とボンちゃん（4）

【Zマーク】

Z2355BA

【作者名】

小林 太陽

【あらすじ】

デコ君とボンちゃんが大変なことになつてしましました。その中
で気付いたこととは……。

新婚生活を送っていたある日のこと。

ボコ「今日、体調よくなくて産婦人科に行つたのよ。そしたらね……」

デコ「つ、つ、つこに出来たか！」

ボコ「やうじゅなにの。お医者様に『ボコ症候群だ』といわれたの」

デコ「なんだい、それ？」

ボコ「一週間以内に、髭が生えてきたり、筋肉がもりもりしたり、声が低くなったり、終いにはちんちんが生えてくるのよー。」

デコ「えーーーっーー（ガロガロ……）」

デコ君はびっくりしてでんぐり返りしています。

ボコ「ビーナス♪（笑）」

それから、一週間が経ちました。

デコ「ボコちゃん！ちんちんが生えてるよーーー！」

ボコ「……」

デコ君は悩みました。悩んで悩み抜いて、十円ハゲが出来るほど悩みました。

ボコ「おっぱいも筋肉質になつてぺったんこよ」

デコ「うーん」

その夜、デコ君は神様にお願いをしました。

デコ「かみさま、ボコちゃんを元に戻してください……ううううう（泣）

しばらくすると、神様が現れました。

神様「おまえは、ボコちゃんを愛していないのか？ ボコちゃんこちんちんが生えたから、愛せないのか？」

デコ「いいえ、かみさま。私はボコちゃんこちんちんが生えても、

愛し抜くと誓います」

神様「嘘つけ。建前ばかり取り繕つても無駄じや。しかしながら、
凸凹では触れ合いにくかろつから、凹凸にしておあがよつ
すると神様は消えてしましました。

次の日、「トト君が起きた」とあることに気が付きました。

おっしゃが生えてきたよ！！

「ちんちん」

ボクササイズして脇で汗を流しているボクちゃんが言いました。

ホニ、あはよな、たしゃないの」

「うわーんー、もひ、ボクちゃんのおっぱい、もめないなんて

「泣」

ボコ「ふん! これからはあなたがもまれる番よー!」

ボコちゃんの攻めが始まりました。

新編　古今著者別書目

ボコ「うるさいわねえ。あなた感じないってのはね、陰徳が足りないのよ。」

「口いいや、ボロちゃんの揉み方が荒いからだよ！」

「君はいいし、自分の陰徳のなさを、ボクがやんせいいして、

自分の陽徳のなさを悟りましたわ。

(後書き)

すみません、やってしまった……。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2355ba/>

デコ君とボコちゃん(4)

2012年1月5日23時47分発行